vol.
2025.10

# 逗子市内を「おでかけ」しやすくするプロジェクト

～逗子市地域公共交通活性化協議会だより～

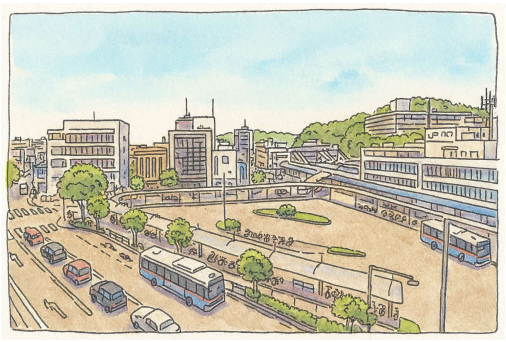
公共交通が比較的便利な逗子市。しかし今、危機が迫っています。

- 利用者減少、運転手不足。交通事業者の経営努力だけでは充実が困難。
- 高齢化が進み、移動に関するニーズも増大。渋滞緩和による利便性向上も必須。

そこで、令和６年度に国の地域交通法に基づき「逗子市地域公共交通活性化協議会」（会長：桐ケ谷市長）を設立し、以下のスケジュールで進めています。

令和７年度（現在）：地域公共交通の課題整理、施策検討

令和８年度：ビジョンや施策をまとめた「地域公共交通計画」策定を目指す



## 第1回「市民懇談会」を開催しました

- **日時**：令和7年9月7日（日）
  15:00～17:00
- **会場**：逗子市役所第2会議室

＜趣旨＞

市内の「おでかけ」の問題点を確認し、課題解決方策を検討。具体的な取組を見いだすとともに、取組推進のために行動できる人を育てることを狙って開催します。

### 会の概要

- 地域公共交通活性化協議会の座長である名古屋大学加藤教授による話題提供を受け、参加者の皆さんが各エリアに分かれ、地図に付箋を貼りながら、日頃の「おでかけ」の困りごとを整理しました。
- 多くのご意見が出て、会場には活発な対話の空気が広がりました。出てきた問いやアイデアをさらに掘り下げていく中で、より具体的な方向性や可能性が見えてきました。

今回は、西部エリア・中部エリアからそれぞれ7名、東部エリアから8名の方にご参加いただきました。

## エリア別に抽出された主な課題

### 西部（久木（８丁目）・小坪）

- 終バスが早い、バスが時間通りに来ない
- バス停まで遠い、バス停に屋根がない
- 踏切や逗子駅周辺で渋滞が発生している
- 自転車のマナーが悪い
- 自動車・自転車・歩行者のすみわけができていない
- 逗子駅以外の目的地に向かう際には乗り継ぎが必要

### 中部（桜山・山の根・新宿・久木（８丁目以外））

- バス停まで遠い、地区内にバスが通っていない
- タクシーがつかまりにくいことがある（海水浴シーズン等）
- 歩道が歩きにくく、危険
- 踏切で渋滞が発生している
- 自転車駐輪場が少ない、使える時間が限定されている

### 東部（池子・沼間）

- バスの便数が少ない、バス車両が小さくて座れない
- 逗子駅・東逗子駅周辺で渋滞が発生している
- 市外の病院に行きにくい
- 逗子駅以外の目的地に向かう際には乗り継ぎが必要
- 坂道が多い、歩道が狭い

▲ 加藤教授による話題提供

▲ 貼り出された意見

▲ 各グループからの報告

## 有識者（協議会委員）からのコメント

### 加藤博和さん
（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

逗子市の根本的な問題は道路の狭さとインフラ不足。特に逗子駅周辺は、道路や区域ごとの交通手段の優先順位の明確化が必要です。運転手不足の中で地域の移動ニーズにこたえるためには、住民の協力が不可欠であり、今後、懇談会を通じて実現できる取り組みを皆さんと検討していきます。

### 清水弘子さん
（かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長）

住民参加型のワークショップは計画策定において大変意義があります。今回、参加者の皆さんには様々な課題を出していただきました。今後は住民の努力と行政の交通政策を適切に組み合わせることが重要です。

### 次回懇談会の予定

令和8年3月

※日程が近づきましたら、詳細をHP・広報に掲載します。

「移動に関する困りごとの解消策」と「自分たちで何ができそうで、他者にどのようなことをお願いしたいか」を話し合う予定です。第1回に参加されていない方も奮ってご参加ください。


お問い合わせ

逗子市環境都市課　☎ 046-873-1111（代表）　✉ kankyo@city.zushi.lg.jp


※その他、様々な機会を通じて市民・移動者の皆さんと意見交換し、「おでかけ」しやすい逗子市実現に結び付けてまいります。